

経営比較分析表（平成28年度決算）

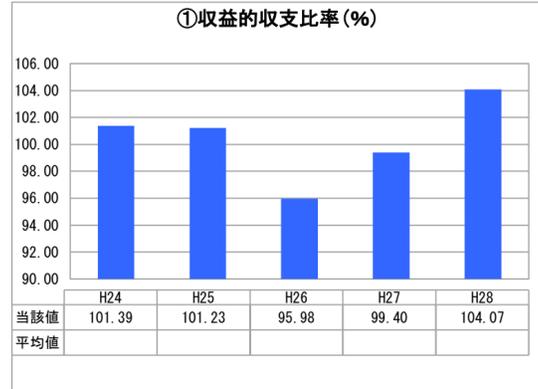
千葉県 横芝光町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.97	100.00	3,675

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,465	67.01	365.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
724	0.39	1,856.41

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



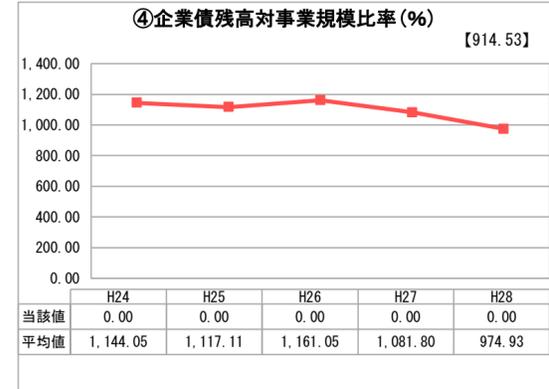
「単年度の収支」



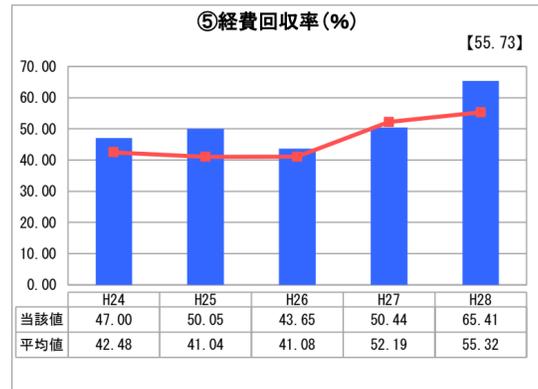
「累積欠損」



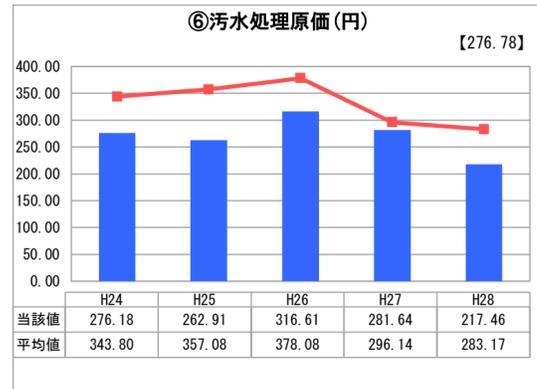
「支払能力」



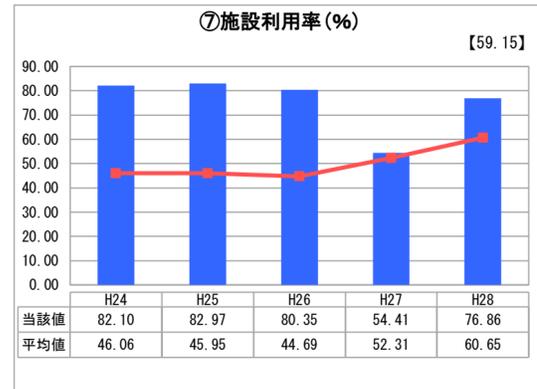
「債務残高」



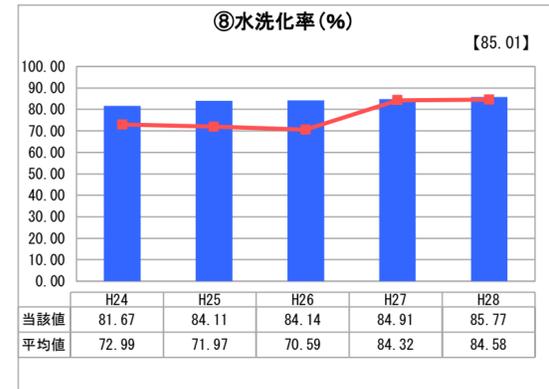
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

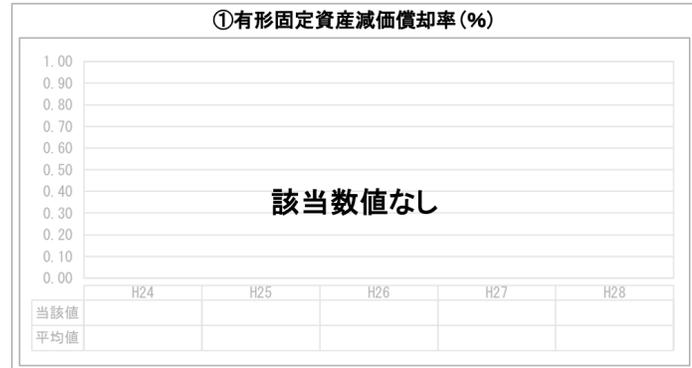


「施設の効率性」

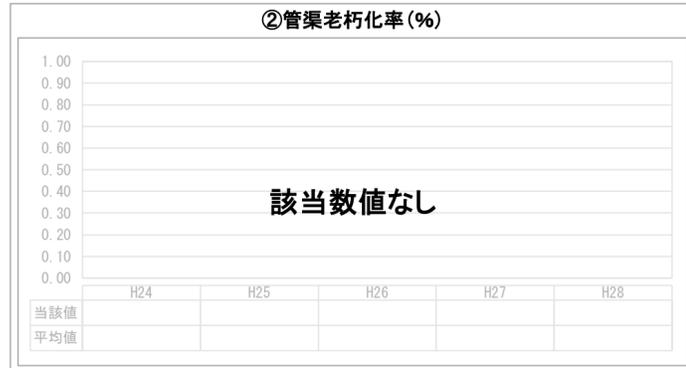


「使用料対象の捕捉」

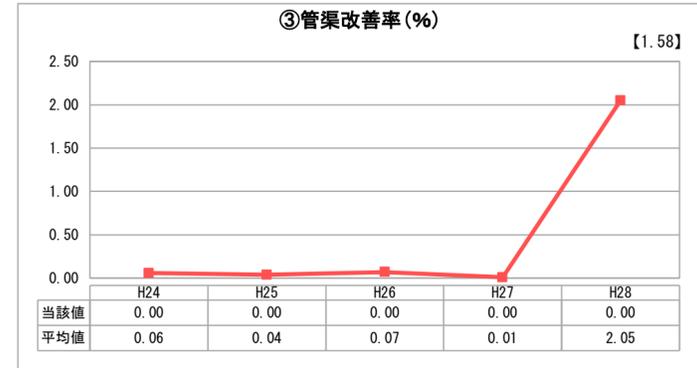
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、H28は104.07%で100%を上回った。要因は、維持管理費（光熱水費と修繕費）の減少によるものである。
 ④企業債残高対事業規模比率は、H24からH28まで0.00%となっているが、これは、一般会計からの繰入金で賄っているため。
 ⑤経費回収率は、類似団体とほぼ同水準であるが、使用料収入以外は、一般会計で賄われている。
 ⑥汚水処理原価は、類似団体に比べ安価となっており、効率的な汚水処理が実施されている。
 ⑦施設利用率は、類似団体に比べ高い稼働率であり、適正に稼働している。
 ⑧水洗化率は、類似団体と比べ高い数値となっているが、更なる継続増加に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、H24からH28まで0.00%である。これは改善を要する管渠がなかったため。しかしながら今後管渠の老朽化が進み、更新が必要となることが懸念されるため、H29機能診断を行い、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

全体総括

直接の維持管理費については、概ね使用料で賄うことができるが、人件費、公債費を含めると財源不足となるため、一般会計からの負担を必要としている。
 また、今後、施設、設備等の老朽化が進んでいくことから、H29機能診断を実施し、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。